KITO

取説 No.CX-0607-00

キトーチェーンブロック CX形

CX003

取扱説明書

お客様へ

- 使用される方および保守管理される方は、必ずお読みください。本書をお読みになった後は、いつでも読めるよう、手元に保管しておいてください。
- 梱包箱の中身を確認してください。
  ①キトーチェーンブロック CX 形　②保証書　③取扱説明書（本書）
- ご注文の仕様に間違いはありませんか。
- 本製品は、環境に配慮して設計しており、欧州RoHS指令に定められた特定有害6物質などを含有していません。

はじめに

このチェーンブロックは人間の手動力を使って、通常の作業環境下で、荷を垂直に上下移動させる作業を目的に設計製作したものです。トロリとの組み合わせで、水平方向への移動も可能です。

この取扱説明書は、実際にキトーチェーンブロック CX 形をお使いになる方を対象として、内容をまとめてあります。
定期点検・故障修理などを管理される保守管理者※を決めてください。保守管理者の方のために、別途「定期点検基準マニュアル」「故障の原因と対策」「分解組立マニュアル」「部品表」などの資料も準備しております。最寄りのキトーまでお申し付けください（各営業所の連絡先は、裏表紙をご覧ください）。

※：チェーンブロックの構造や仕組みに関し精通し、専門知識を有すると事業体により認められた方
または、構造や仕組みに関し精通し､「定期点検基準マニュアル」や「分解組立マニュアル」を理解できる方
この条件を満たさない場合は、キトーにご相談またはご依頼ください。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一不可解な点や、誤り、お気づきの点がございましたら、ご一報くださいますようお願いいたします。

目次

はじめに 2

安全上のご注意 4

梱包を開けて 10

各部名称 10

主要諸元 11

使用環境条件 11

据付 11

使用前のチェック 11

使用方法 12

使用後のお手入れと保管 13

日常点検 14

安全上のご注意

チェーンブロックの使い方を誤ると、つった荷の落下などの危険な状態になります。取り付け･使用･保守点検の前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくご使用ください。機器の知識・安全の情報、そして注意事項の全てについて習熟してからご使用ください。
この取扱説明書では、注意事項を「危険」「注意」の２つに区分しています。
また、本チェーンブロックの取り扱いに関連する機器（トロリなど）の取扱説明書もお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

危険 取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。

注意 取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害のみが想定される場合。

なお、［注意］に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
本書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

図記号の説明

禁 止

⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

強 制

❗は、強制（必ずすること）を示します。
具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他使用環境条件を逸脱した使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用中または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、つり荷の損傷など）に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないこと、および仕様範囲を超えたことにより生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 弊社が関与しない機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

用途制限について

- 人間の運搬用途として設計・製作されたものではありませんので、人間の運搬用途として使用しないでください。
- 人間の手動力を使って、通常の使用環境条件において、荷を垂直に上下移動させる作業を目的に設計･製作されたものです。動力を用いて荷の上下移動をしないでください。
  トロリとの組み合わせで水平移動は可能です。用途を決定するに当たっては、設計・製作目的に則り用途を決定・判断してください。
- 本チェーンブロックは使用される条件が多様なため、使用に当たっての適合性の決定はお客様自身が、必要に応じて分析やテストを行ってから決定してください。性能、安全性の保証は適合性を決定した人の責任になります。

使用する方について

- 手動チェーンブロックのご使用に際し、法規上特段の規制はありません。しかし安全確保のために、「クレーン等安全規則」に該当しない場合であっても、チェーンブロックを使用される方は、玉掛け技能やクレーンの運転教育を受講されることを推奨します。
- この取扱説明書および関連機器の取扱説明書を熟読し、内容を理解した上で使用してください。

■取り扱い全般・管理について

⚠ 危険

禁 止

チェーンブロックを取り扱う場合は、次の取り扱いをしないでください。

これらの取り扱いをすると、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

- 保守管理者以外の方は、分解・修理をしないでください。
  保守管理用としての「定期点検基準マニュアル」「故障の原因と対策」「分解組立マニュアル」は別途準備しています。分解・修理などはこれらの資料により、保守管理者が行ってください。
- つり荷の下や、つり荷の動く範囲に入らないでください。
  また人の頭上を超えて荷を運搬したり、つり荷の動く範囲に人を立ち入りさせないでください。
- 製品及び付属品の改造はしないでください。
- シタカナグおよびオーバーロードリミッター (過度な負荷を防止する装置) を調整したり、分解しないでください。

強 制

チェーンブロックを取り扱う場合は、次の内容を守ってください。

これらの取り扱いを守らないと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

- 取扱説明書および警告ラベルの内容をよく理解した上で、使用してください。
- 使用前に日常点検を実施してください。
- 定期点検 (1 ヶ月ごと、1 年ごと) を保守管理者に依頼するか、弊社にご依頼ください。
- 定期点検の記録は保管してください。

⚠ 注意

禁 止

チェーンブロックを持ち運びする時、引きずったり、放り投げたりしないでください。

チェーンブロックが破損したり傷ついたり、使用中のつり荷落下などにより、傷害または物的損害発生の恐れがあります。

強 制

チェーンブロックは使用環境条件（11 ページ参照）を守ってください。

使用環境条件を守らないと、傷害または物的損害発生の恐れがあります。

強 制

本製品を廃棄する場合は、使用できないように分解し、地方自治体の条例または事業体が定めた規則にしたがって廃棄してください。

詳しくは、地方自治体および関係部門にお問い合わせください。
なお、分解のしかたは「分解組立マニュアル」を参照するか、弊社にお問い合わせください。

（つづく）

■取り付けについて

⚠ 危険

禁 止

チェーンブロックを取り付ける場合は、次の内容をしないでください。

これらの内容を守らないと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

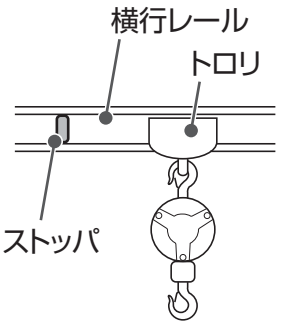
- 取り付けは専門業者、専門知識のある人以外は行わないでください。
- トロリなど他の動く装置（設備）の可動区域に据え付けないでください。

強 制

チェーンブロックを取り付ける場合は、次の内容を守ってください。

これらの内容を守らないと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

- チェーンブロックを取り付ける構造物の強度が十分である事を確認してください。
- ウエフックをしっかりと構造物に掛けてください。
- トロリと連結して使用される場合、トロリの取扱説明書を熱読し、組立・レール幅の調整を行い取り付けてください。
- トロリの横行レールの両端末には、ストッパを取り付けてください。



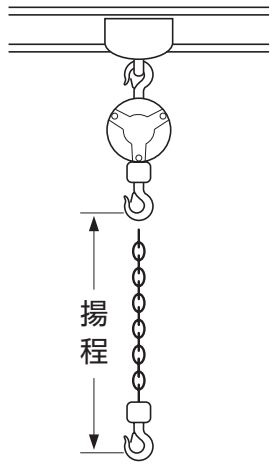
⚠ 注意

強 制

チェーンブロックを取り付けする場合は、次の内容を守ってください。

これらの内容を守らないと、傷害、または物的損害発生の恐れがあります。

- チェーンブロックは、動きを拘束されないように取り付けてください。
- チェーンブロックの揚程は作業に十分な長さのものを取り付けてください。



■使用前について

⚠ 注意

強 制

チェーンブロックを使用する前に次の内容を実施・確認してください。

確認中に異常を発見した場合は、使用せずに「故障・点検中」の表示をし、点検・修理を保守管理者に依頼してください。

これらの内容を守らないと、傷害、または物的損害発生の恐れがあります。

- 使用前に「日常点検」（14 ページ参照）を実施してください
- 玉掛用具に、異常がないか
- 作業内容を確かめ、余裕のある定格荷重・揚程のチェーンブロックか
- 作業環境を確かめ、ハンドチェーンを鉛直に引ける作業場所の確保と、作業の邪魔になるような障害物が無く、作業範囲が見渡せるか
- 足場はしっかりしているか
- 作業開始時には、周りの人に作業開始を知らせてください

■使用中について

⚠ 危険

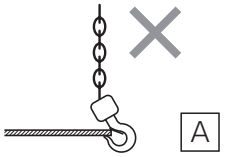
禁 止

チェーンブロックを次に示すような、使用はしないでください。

これらの使用をすると、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

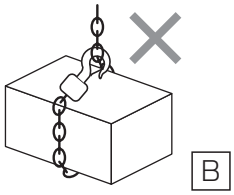
〈一般〉

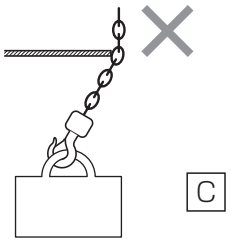
- ロードチェーンは専用チェーンですので、他機種のチェーンは使用しないでください。交換は分解組立マニュアルを参照し、保守管理者が新しい本機純正部品と交換してください。
- チェーンブロックを人間の手動力以外での操作はしないでください。
- 荷をつった状態で長時間放置しないでください。


A

〈玉掛け〉

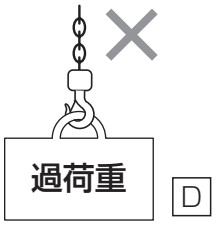
- フックラッチの外れたフックは使用しないでください。
- フックの先端やフックラッチに、荷重を掛けないでください。《図 A》
- ロードチェーンをつり具代わりに、荷に巻き付けて使用しないでください。《図 B》
- ロードチェーンを鉄板等の角にあてて操作しないでください。《図 C》


B

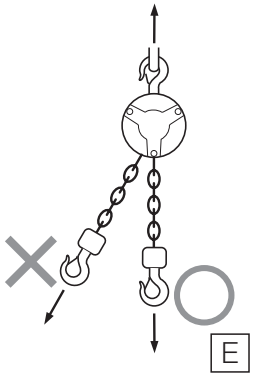

C

〈つり上げ〉

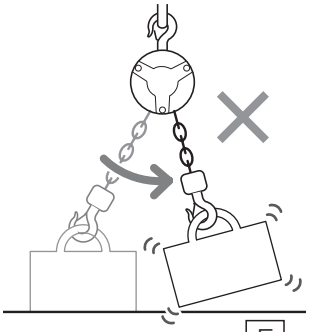
- 定格荷重を超える荷をつり上げないでください。《図 D》
- 荷をロードチェーンやハンドチェーンに接触させないでください。
- ロードチェーンに触れたまま、つり上げないでください。
- つった荷を揺らさないでください。
- 荷をつり上げたときに、ウエフックとシタフックが荷重方向に真っ直ぐにならない場合は、使用しないでください。《図 E》



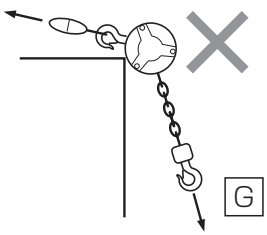
D

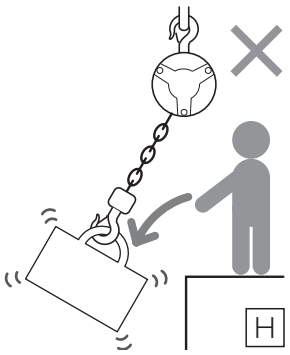

E

- 荷を地面からつり上げたとき、荷がゆれるつり方はしないでください。《図 F》
  また、トロリ付きの場合、トロリに無理な力が掛からないよう、トロリの真下で荷をつり上げてください。
- チェーンブロックのウエフックに、他のクレーン等を取り付けてつり具として使用する場合は、オーバーロードリミッターは作動しないので、
  ・定格荷重を超えた荷をつり上げない
  ・ロードチェーンがたるんだ状態で一気につり上げない
- つり具として使用する場合には、ハンドチェーンをつり荷や構造物などに引っ掛けないでください。


F

- 本体を支点にするような状態では、使用しないでください。《図 G》
- 荷台などからつり上げるときに、荷を掛けた状態で落下させるような衝撃荷重をかけないでください。《図 H》
- 巻上げ過ぎ、巻下ろし過ぎ作業はしないでください。
- 主要諸元（11 ページ参照）のフック間最小距離および揚程を確認してください。
- オーバーロードリミッターの作動（スリップ）を繰り返さないでください。
- オーバーロードリミッターが作動した場合、直ちに巻き上げ作業を中止し、荷を降ろしてください。


G


H

（つづく）

■使用中について（つづき）

⚠ 危険

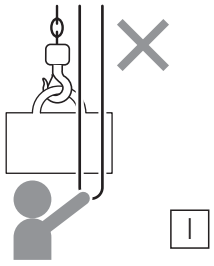
禁 止

チェーンブロックを次に示すような、使用はしないでください。

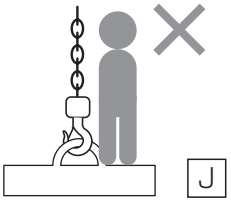
これらの使用をすると、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

〈運搬・移動〉

- 荷の真下で操作したり、人の頭上を超えて荷を運搬しないでください。《図 I》

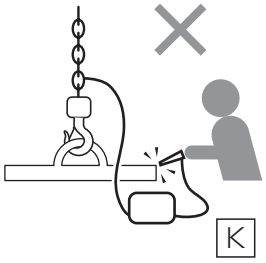

I

- つった荷には乗らないでください。また、人を支えたり、つり上げたり、運ぶ等人の乗る用途には使用しないでください。《図 J》
- 本体やトロリを、横行レールのストッパや構造物に衝突させないでください。


J

〈つり上げての作業〉

- 鉄板をつった状態で、溶接や切断作業をしないでください。
- ロードチェーンを溶接作業のアースとして使用しないでください。《図 K》
- チェーンブロックの修理・分解は、製品を床に降ろして保守管理者が行なってください。
- 二人以上で同時にハンドチェーンを引っ張らないでください。


K

〈異常・故障発生〉

- 損傷を受けたり、異常があったり、異音がするチェーンブロックを使用しないでください。
- ロードチェーンに次の異常があるときは使用しないでください。
  ・変形、ねじれ、もつれ、傷、亀裂、異物付着、腐食、かみ合い異常があるもの
  ・伸び、摩耗が大きいもの
- 故障中・修理中のチェーンブロックは使用しないでください。

強 制

チェーンブロックを使用する場合は、次の内容を守ってください。

これらの内容を守らないと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

- 使用中に異常を発見したときは、直ちに使用を中止し「故障・点検中」の表示をし、点検・修理を保守管理者に依頼してください。
- 手動力が異常に大きくなった場合は直ちに操作を中止してください。
- 荷重、形状に最も適した玉掛用具 (つり具) を使用してください。
  玉掛の方法が不良の場合、つり荷が落下するなどの大変危険な状態になります。

⚠ 注意

禁 止

チェーンブロックを次に示すような、使用はしないでください。

これらの使用をすると、傷害、または物的損害発生の恐れがあります。

- ハンドチェーンがもつれたり、絡まるような操作をしないでください。
- 溶接等による火花を、チェーンブロックに付着させないでください。
- オーバーロードリミッターを荷重測定のために使用しないでください。
- フックに無理な力の掛かるような荷台の掛金には、直接フックを掛けないでください。
- つり荷やハンドチェーンを他の構造物などに引っ掛けないでください。

強 制

チェーンブロックを使用する場合は、次の内容を守ってください。

これらの内容を守らないと、傷害、または物的損害発生の恐れがあります。

- ロードチェーンのねじれは直してから、荷をつり上げてください。
- ロードチェーンおよびハンドチェーンが、もつれたり絡まった時は直ちに作業を停止し、もつれ・絡まりをほどいてください。
- 2 丁つり作業の場合は、それぞれ 1 台のチェーンブロックで、その荷をつり上げる事ができる定格荷重のチェーンブロックを使用してください。
  また荷は水平につり上がるように、それぞれのチェーンブロックを操作してください。

■保守点検・保管について

⚠ 危険

禁 止

チェーンブロックの保守点検は、保守管理者以外の方は行なわないでください。

保守管理者以外が行うと、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。
保守管理者は、「定期点検基準マニュアル」「故障の原因と対策」「分解組立マニュアル」などの資料により、保守点検を行ってください。

- ロードチェーン・ハンドチェーンの切断・継ぎ足し・溶接はしないでください。
- ブレーキ部に油を付けないでください。
- 部品交換の際は、キトーチェーンブロック CX 形用純正部品以外は使用しないでください。
  キトーチェーンブロック純正部品であっても、モデルが異なると使用できない場合があります。

⚠ 注意

強 制

チェーンブロックの保守点検・保管は、次の内容を守ってください。

これらの内容を守らないと、傷害、または物的損害発生の恐れがあります。

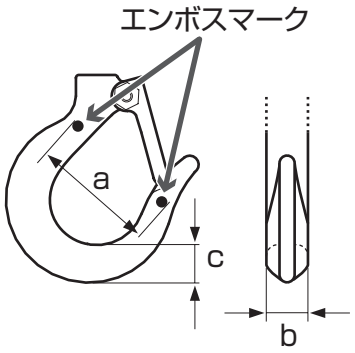
- 修理の必要なチェーンブロックは「故障･点検中」等の名札を付け､誤って使用されないよう区別してください。
- 保管する場合は、汚れや水滴を拭き、フックの首部やロードチェーンに塗油して屋内に、荷をつらないで保管してください。

梱包を開けて

●箱の表示および製品がご注文の内容と一致しているかご確認ください。
●輸送中の事故などで製品が変形・破損していないかご確認ください。
● LOT NO.（製品のネームプレートに記載）・ご購入年月日・ご購入販売店名を右の枠に書き入れてください。
※修理や部品の必要なときは、この情報もあわせてご連絡ください。

Lot NO.	CX1A −
ご購入年月日	年　月　日
ご購入販売店名	

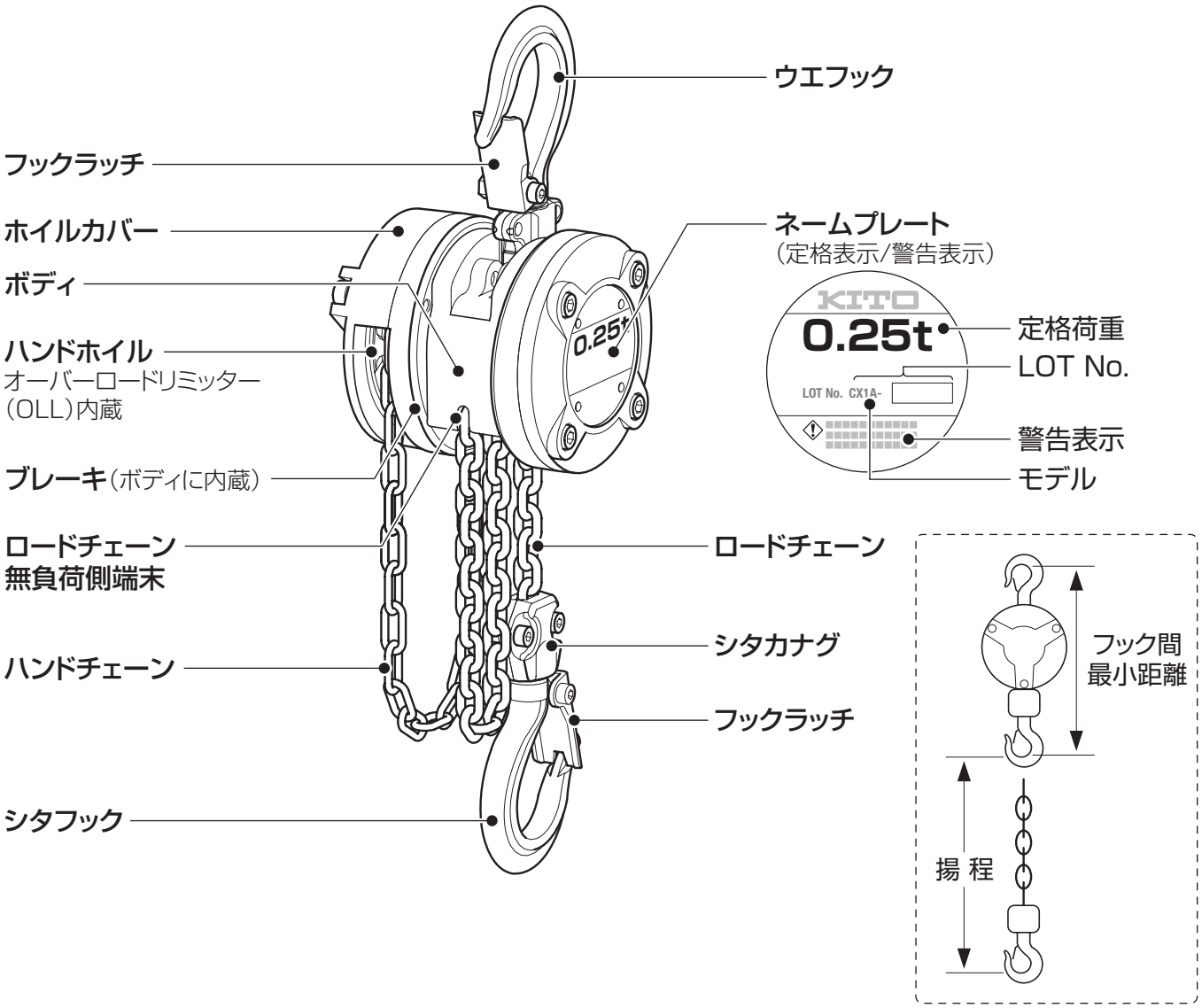
●保守・管理のため、開梱時には上下フックのエンボスマーク間の開き寸法 a と、上下フックのフック幅 b およびフック厚み c 寸法を、右の枠に記入してください（これらの数値は点検時に使用します）。



開梱時寸法

上フック	a 寸法	mm
	b 寸法	mm
	c 寸法	mm
下フック	a 寸法	mm
	b 寸法	mm
	c 寸法	mm

各部名称



主要諸元

形式	定格荷重 (t)	標準揚程 (m)	フック間最小距離 (mm)	ハンドチェーン標準長さ 二つ折り (m)	手動力*1 (N)[kgf]	けん引長さ*2 (m)
CX003	0.25	2.5	217	2	147[15]	33.8

形式	ロードチェーン線経 ×ピッチ (mm)	ロードチェーンの 掛け数	Test Load (t)	揚程増し増加重量 (kg/m)	質量 (kg)
CX003	φ 3.2 × 9.0	1	0.38	0.4	2.4

＊ 1：定格巻き上げ時に平均して手にかかる力
＊ 2：荷を 1m 巻き上げるのに要するハンドチェーンの長さ

使用環境条件

使用温度範囲	-40℃～ +60℃
使用湿度範囲	100%RH 以下でお使いください。水中での使用はできません。
使用部材	標準的部材を使用しています。 スパークレス等の特殊材やアスベスト材は使用しておりません。 環境負荷物質に関し、RoHS 指令に定められた 6 物質は本製品では含有しておりません。

●チェーンブロックは次の環境下で使用しないでください。
- アルカリ性・酸性雰囲気の場所
- 有機溶剤・爆発性雰囲気の場所

なお、塩分の多い場所や、屋外使用が特に多い場所など、上記以外の通常の使用環境以外でのご使用を希望される場合は、保守・点検を頻繁に行うことで使用できる場合があります。その場合は、事前にキトーにご相談ください。

据付

ご使用の前に 6 ページの「安全上のご注意　■取り付けについて」をよくお読みになり、記載事項を守ってください。
- チェーンブロックを取り付ける構造物の、強度が十分であることを確認してください。
- 取り付けは専門業者または専門知識のある人以外は絶対に行わないでください。
- トロリなど他の動く装置の可動区域には据え付けないでください。
- トロリと連結して使用されるときは、トロリの取扱説明書を熟読し、組立・レール幅の調整を行って据え付けてください。トロリの走行レールの両端末には、ストッパを取り付けてください。

※弊社 TS 形トロリ（形式 TSP005）に結合可能です。なお、トロリ結合で使用される場合は、トロリ容量表示を CX003 に合わせて 250kg としてください。詳細はキトーへご相談ください。

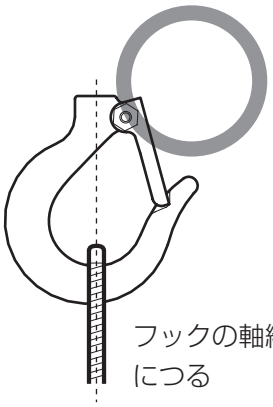
使用前のチェック

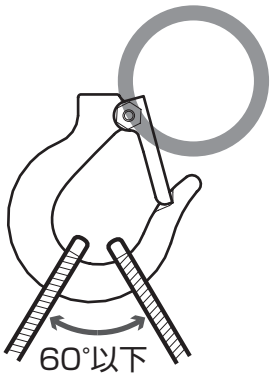
ご使用の前に 6 ページの「安全上のご注意　■使用前について」および 9 ページの「安全上のご注意　■保守点検・保管について」をよくお読みになり、記載事項を守ってください。
使用される方は、必ず日常点検を実施してから作業を始めてください。
チェーンブロックを常設して繰り返し同種の作業に使われるときも、その日の作業内容を確かめ、定格荷重を超えないことを都度確認してください。

使用方法

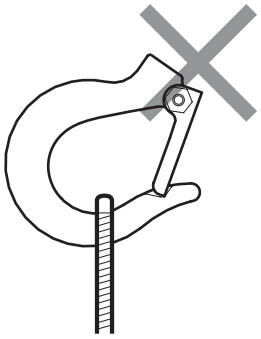
ご使用の前に 7 ～ 9 ページの「安全上のご注意　■使用中について」をよくお読みになり、記載事項を守ってください。

【正しい荷のつり方】

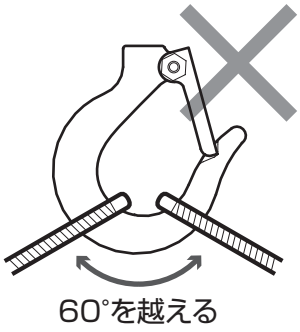




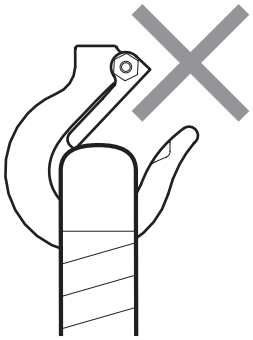
下図のようなフックの掛けかたは、危険ですので行わないでください。



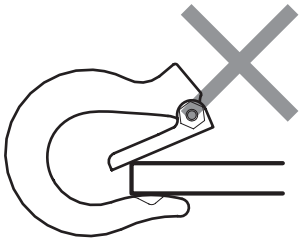
保持物またはスリングが正しい位置にかかっていない



角度が広すぎる



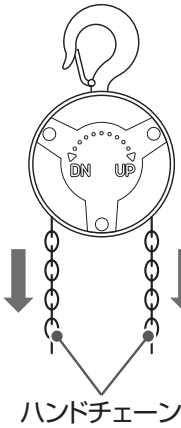
フックラッチが閉じない



フックの先端に負荷がかかっている

【操作方法】

【ホイルカバー側】



巻き下げ

ホイルカバー側から見て、左のハンドチェーンを引き下げると（→ DN 方向）、巻き下がります。

ハンドチェーン

巻き上げ

ホイルカバー側から見て、右のハンドチェーンを引き下げると（→ UP 方向）、巻き上がります。

本製品は、147N（15kgf）以下の力でハンドチェーンを引けば、定格荷重が巻き上げられるように設計されています。定格荷重以下での巻き上げ操作において、147N（15kgf）以上の力でハンドチェーンを引かなければ上がらないときは、チェーンブロックが故障している可能性があります。このような異常の場合は使用を中止し、保守管理者にご相談ください。

オーバーロードリミッター (OLL) について

⚠ 危険

禁 止

オーバーロードリミッター (OLL) を調整したり、分解しないでください。

これらの取り扱いをすると、死亡または重傷などの重大事故の恐れがあります。

本製品には、オーバーロードリミッター（OLL：過度な負荷を防止する装置）が標準装備されています。ハンドチェーンを引き過度な負荷を巻き上げようとすると、OLL が働きハンドホイルが空回りして本体の破損を防ぎます。このような場合、荷重を定格荷重以下にしてください。

使用後のお手入れと保管

ご使用の後は、9 ページの「安全上のご注意　■保守点検・保管について」をよくお読みになり、記載事項を守ってください。

【お手入れ】

- 持ち運びするときは、引きずったり、放り投げたりしないでください。
- ブレーキ部分への注油は絶対にしないでください。
- 汚れや水気を拭い、フックの首部やロードチェーンに塗油してください。

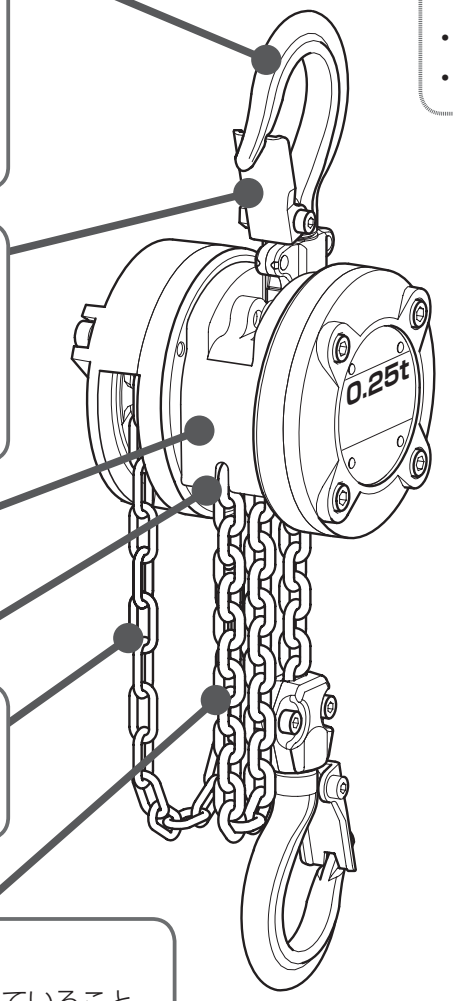
【保管】

- 使用しないときは他の作業の邪魔にならないようにしてください。
- 湿気の少ない屋内に保管してください。
- 屋外設置の場合、常に雨ざらしになるのを避けるため、カバーをかけるか雨覆いのある場所に保管してください。
- ハンドチェーンを 10cm 程度巻き下げて手を離し、ブレーキがゆるんだ状態で保管してください。

日常点検

点検には、使用される方が使用前に行う「日常点検」と、十分な知識があり、かつ分解作業が可能な保守管理者が行う、より詳細な「定期点検」（1 ヶ月ごと、1 年ごと）があります。

- チェーンブロックを安全にご使用になるために、必ずこれらの点検を行ってください。
- 定期点検についてはより詳細な「定期点検基準マニュアル」の他に、「分解組立マニュアル」「故障の原因と対策」「部品表」などの管理者用資料もご用意しております。最寄りのキトーまでお申し付けください（各営業所の連絡先は、裏表紙をご覧ください）。



フック

- ウエフック / シタフック共に変形や傷の無いこと。
- ウエフック / シタフック共にフック首部が軽く回転すること。
- シタカナグ固定用のボルト / ナットに緩みの無いこと。

フックラッチ

- フックラッチが閉じていること。
- フックラッチに変形や傷の無いこと。
- 開閉動作がスムーズなこと。

ハンドチェーン

- 変形・傷・もつれ・絡まりの無いこと。

ロードチェーン

- 無負荷側端末がボディに固定されていること。
- 変形・傷・もつれ・絡まりの無いこと。
- 目立つほどの錆の無いこと。
  ※錆がある時は除去してください。
- ロードチェーンに油が付いていること。
  ※油がついていない時は、ロードチェーンに付着したゴミや水滴を取り除いて、潤滑油形さび止め油 JIS K 2246　1 種 1 号 NP-9 相当（出光興産 ダフニー オイルコート RL-44 推奨）を塗布してください。
  ロードチェーンに油を塗布できないご使用環境のときは、キトーまでご相談ください。

外観

- ネームプレートがしっかり付いており、表示内容がはっきり読めること。
- ボルト･ナットの緩み、脱落が無いこと。
- 外観上、傷や破損が無いこと。

巻き上げ

シタフック側のロードチェーンを片手で軽く引っ張りながら、もう一方の手で巻き上げ操作を行う

- ブレーキ装置のツメの「カチカチ」という動作音が聞こえ、スムースに動作すること。
- 操作を止めたときに下フックが停止すること。
  ※シタフックがロードチェーンやハンドチェーンに絡まっているときは、絡みを無くす。

巻き下げ

シタフック側のロードチェーンを片手で軽く引っ張りながら、もう一方の手で巻き下げ操作を行う

- 巻き下げ時には音がせず、スムースに動作すること。
- 操作を止めたときに下フックが停止すること。
- 巻き下げできない場合は、巻き下げ過ぎでないことを確認し、ハンドチェーンを一瞬強く引いて巻き下げ操作をしてください。
  それでもできない場合は、保守管理者またはキトーまでご相談ください。

異常がある場合は、保守管理者またはキトーまでご相談ください。

《メモ》

もし、この取扱説明書の内容に不明な点や、さらに詳細な情報をお知りになりたい方は、最寄りの弊社営業所までお問合せください。
キトーはお客様が末永く、チェーンブロックを安全にご愛用いただけますこと、心より願っております。

※この商品は、日本国内用に設計・販売しています。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスは、対応できませんのでご了承ください。

株式会社キトー

本　　社

山梨本社	〒409-3853	山梨県中巨摩郡昭和町築地新居 2000 番地			
東京本社	〒163-1416	東京都新宿区西新宿 3 丁目 20 番 2 号 東京オペラシティビル 16 階			
		東京営業グループ	TEL (03)5371-7320	FAX	(03)5371-7318
		営業第 2 グループ	TEL (03)5371-7340	FAX	(03)5371-7318

営　　業　　所

札幌営業所	〒003-0022	札幌市白石区南郷通 8 丁目南 1-8	TEL (011)864-3264	FAX	(011)864-3265
仙台営業所	〒983-0045	仙台市宮城野区宮城野 2-10-36	TEL (022)291-8145	FAX	(022)297-1976
新潟営業所	〒950-0912	新潟市南笹口 1-1-13	TEL (025)247-1381	FAX	(025)243-0798
小山営業所	〒323-0822	小山市駅南町 2-18-3(ウェルストン小山Ⅱ)	TEL (0285)28-1141	FAX	(0285)28-1155
熊谷営業所	〒360-0012	熊谷市上之 852(大沢ビル 1F)	TEL (048)527-8050	FAX	(048)527-7370
千葉営業所	〒260-0044	千葉市中央区松波 1-11-3	TEL (043)206-0611	FAX	(043)206-0614
横浜営業所	〒223-0057	横浜市港北区新羽町 776(KM ビル 102)	TEL (045)546-3551	FAX	(045)546-3558
甲信営業所	〒409-3853	山梨県中巨摩郡昭和町築地新居 2000 (山梨本社テクノセンター 1F)	TEL (055)275-7608	FAX	(055)275-7598
静岡営業所	〒436-0029	掛川市南 1-6-15(キヨミズキャンパス 1C)	TEL (0537)61-1177	FAX	(0537)61-1178
名古屋営業部	〒465-0013	名古屋市名東区社口 1-1004	TEL (052)726-8686	FAX	(052)726-8689
北陸営業所	〒920-0022	金沢市北安江 1-1-1(坂口第 2 ビル 1F-D)	TEL (076)262-3611	FAX	(076)262-3880
大阪営業部	〒570-0003	大阪府守口市大日町 2-10-3	TEL (06)6907-0601	FAX	(06)6907-0614
岡山営業所	〒700-0975	岡山市今 5-13-36	TEL (086)243-0882	FAX	(086)241-0926
広島営業所	〒734-0015	広島市南区宇品御幸 3-2-2 (安井マンション 1F)	TEL (082)251-8800	FAX	(082)251-8816
福岡営業所	〒812-0007	福岡市博多区東比恵 3-27-10	TEL (092)483-6861	FAX	(092)483-6869

お客様相談センター フリーコール
受付時間 9:00 ～ 17:00（土・日祝日を除く）
TEL：0120-988-558
FAX：0120-988-228　E-mail：callcenter@kito.co.jp

取 扱 店

※この取扱説明書は、事前の予告なく一部内容を変更することがあります。